

# Mitsui Fudosan

三井不動産 Story

## 聖地、巡礼。

街の中心から離れた線路沿いに、その場所があった。広島東洋カープの本拠地、マツダスタジアムの周辺はひとつの街になっていた。球場の周辺には、商業施設やマンションだけでなく、結婚式場まであった。ボールパークタウンというらしい。

ベースボールの国、アメリカのボールパークを11カ所、徹底的に研究した。どこも郊外にあった。

そして野球のない日はたいていガランとしていた。

野球のある日はもちろん、そうでない日にも人が集まる場所にしたい。

という広島市からの課題に対して、

住む人、買い物する人で賑わうようにしよう。

そして歴史に愛されたあの球場をこえて

みんなに愛される場所にしよう。

そう決意した。

ランニングしながら野球を見られたらどうだろう。

この街で結婚式を挙げられたら、

そしてこの街で暮らすことができれば、

きっとファンはうれいはずだ。

このエリアに入るだけで鳥肌がたつようにできないか。

「球場のある街」というコンセプトは

ここにしかないアイデアを磨きあげるヒントをくれた。

アメリカにあるものを移すだけではダメだ。

この土地に必要な形にしない。

未来に愛されるものにはならない。

それが、ボールパークタウンという新しい構想を生んだ。

都市と広場をコネクトした街づくりだ。

歴史をたくさん刻んで

愛が蓄積されて

この街は新しい聖地になっていくのだ。

いい街には、物語がある。

